NOTICIAS DE S. PAULO

(1) Nº 2.076 — (Primeiro Diario Nipponico Publicado no Brasil) — 8ª, FEIRA 23 DE ABRIL DE 1940

聖市コンデデサンジョアキン街九三番地
郵函二七六五
發行所 聖州新報社
發行人 香山露子
購讀料 一年四拾錢
廣告料 一段七二錢

NOTICIAS DE SAO PAULO
Caixa 2765 - Fone. 7-0447
R. Conde de São Joaquim, 93
S. Paulo - Brasil

聖市新報

阿部全權大使一行南京入り
新生首都へ第一歩印す
歴史的歡呼にわく南京

（南京二十三日同盟日本）阿部全權大使一行をのせた鹿島丸は二十三日午前九時三十分南京下關着、汪精衛代理楮民氏外交部長高冠吾南京市長等の出迎へをうけ同十時上陸、沿道の塔列する將兵、居留民團の歡呼裡に鼓樓の大使館邸に入った

感激の那刹

（南京二十三日同盟日本）阿部全權大使一行を乗せた鹿島丸は二十三日午前九時三十分南京下關に着、汪精衛代理楮民氏外交部長高冠吾南京市長等の出迎へをうけ同十時上陸、沿道の塔列する將兵、居留民團の歡呼裡に鼓樓の大使館邸に入った

（南京二十三日同盟日本）阿部全權大使一行を乗せた鹿島丸は二十三日午前九時三十分鹿島丸が帝國軍艦〇〇に護られて姿を現はせば、海の荒鷲四機が高く擧げた、かくて十時モーニングに鼠色のソフトの阿部一行もそれぞれ鹿島丸を下船介右自ら全軍に訓令を發し、一億國民の要望を双肩に擔ぐる、午前九時三十分鹿島丸が大使は日高主席隨員以下を從へ大壯重な君が代の調べが晴れて下關港は清朝の未明霧港さ始し宿舎代りの東亞海運興東丸に乗り移った、感激に包まれて以來數ヶ年振りに燦く國旗の波の中に悠々と埠頭れて以來數ヶ年振りに燦く國旗の波の中に悠々と埠頭れて以來數ヶ年振りに燦く國旗を掲げ、大使館差し廻しの自動車をつらね沿道歡呼し興亞晴れ初夏の陽光が若葉の緑に黒り映えて新首都の街は歡喜の色か滿ち溢れてゐる

（南京二十三日同盟日本）阿部全權大使一行は日本國民の要望を双肩に擔ぐる、午前九時三十分鹿島丸が大使は日高主席隨員以下を從へ大壯重な君が代の調べが晴れて下關港は清朝の未明霧港さ始し宿舎代りの東亞海運興東丸に乗り移った、感激に包まれて以來數ヶ年振りに燦く國旗の波の中に悠々と埠頭れて以來數ヶ年振りに燦く國旗を掲げ、大使館差し廻しの自動車をつらね沿道歡呼し興亞晴れ初夏の陽光が若葉の緑に黒り映えて新首都の街は歡喜の色か滿ち溢れてゐる

つた阿部全權大使以下隨員及び國民慶祝使節團一行を乗せた使節船鹿島丸は二十三日午前十時南京下關に到着、大使民政外交部長、高冠吾南京市長一行は新生首都南京に上陸第一歩を印した、この日棧橋に司令官代理今井大佐、及川司令官代理伊藤大佐、塙南京總領事、影佐少將始め兩國要人がプラット列び、國民政府の儀杖兵、軍樂隊を棧橋上に整列して到着を待つ、やがて昨夜揚子江上假泊した鹿島丸は午前十時南京下關に到着、大使民政外交部長、高冠吾南京市長一行は新生首都南京に上陸第一歩を印した、この日棧橋に司令官代理今井大佐、及川司令官代理伊藤大佐、塙南京總領事、影佐少將始め兩國要人がプラット列び、國民政府の儀杖兵、軍樂隊を棧橋上に整列して到着を待つ、やがて昨夜揚子江上假泊した鹿島丸は午前九時、阿部大使一行を迎へる爲汪精衛代理楮民氏外交部長、高冠吾南京市長等がモーニング姿を現はし、西尾司令官代理今井大佐、及川司令官代理伊藤大佐、塙南京總領事、影佐少將始め兩國要人がプラット列び、國民政府の儀杖兵、軍樂隊を棧橋上に整列して到着を待つ、やがて昨夜揚子江上假泊した鹿島丸は

國共の調定不能
共産黨の强硬態度
現狀維持を主張し讓らず

（香港二十二日同盟・日本）重慶來電、中國共産黨中央當局は、反共派に對抗し一一日地方に對し、しきりに遍見的附左の如き聲明を發し、陝西惡口を浴せ「封建的割據主義甘肅、寧河邊區行政に關し如何なる現狀變更の企圖も承服せざる態度を明かにした

聲明要旨

甘肅、寧河、邊區地方は民主的革命の重要根據地を形成するのみならず、全時、全國戰に於て勝利を獲得し、新民主的革命の重要根據地を形成するのみならず、全時、全國戰に於て勝利を獲得し、新民主的革命の重要根據地を形成する爲に重要なる要素である

重慶來電、中國共産黨中央當局は、反共派に對抗し一一日地方に對し、しきりに遍見的附左の如き聲明を發し、陝西惡口を浴せ「封建的割據主義甘肅、寧河邊區行政に關し如何なる現狀變更の企圖も承服せざる態度を明かにした

聲明要旨

甘肅、寧河、邊區地方は民主的革命の重要根據地を形成するのみならず、全時、全國戰に於て勝利を獲得し、新民主的革命の重要根據地を形成する爲に重要なる要素である

保守派、反動派の一群は邊區

解決の鍵は？
中共の要求要旨

（香港二十二日同盟・日本）重慶來電、國防最高委員會は國共兩黨關係再調整の爲、兩三度にわたる運動を試みたに對し、共産黨側は反動的態度を聲明してゐるが、中國共産黨本部は二十日附宗慶齢宛國共關係改善に資する基本案と目される左の如き方策を蔣介石に傳達するやう要請したと傳へられる

一、異黨取締り便法の即時廢止、統一國防政府を樹立し、

Provavel reajustação das relações comerciaes entre o Brasil e o Japão
60o/o da importação niponica em toda a America Latina é proveniente do Brasil

TOKIO, 23 (Domei) — O sr. I. Mizuno, secretario do Departamento de Comercio Estrangeiro, acha-se na America do Sul, afim de assistir a conferencia dos representantes diplomaticos que se reunirá no Rio. Esse diplomata, provavelmente, procurará um entendimento com o govêrno brasileiro, relativamente ao reajustamento das relações comerciaes entre os dois paizes amigos.

O jornal "Asahi" acentúa que as relações comerciaes entre o Brasil e o Japão se resumem nas seguintes formas: o Japão exportou para o Brasil, em 1939 . . . . . 15.600.000 yens, representando 15o/o do seu comercio com a America Central e do Sul, importando no mesmo periodo 74.682.000 yens, representando 60o/o do seu comercio com as nações da America Latina.

uma Missão Economica Canadense chefiada pelo banqueiro sr. M. Hamilton. A Missão economica do Paraguaí chegou no dia 19 do corrente e seus membros estão fazendo visitas de cortesia a diversos ministros.

▽……△

▽……△

Missões Economicas no Japão

TOKIO, 23 (Domei Agên. niponica) - Os membros da Missão Economica Mexicana estão sendo festivamente recebidos em todas cidades que visitam. Esperase para breve a chegada de

重慶震驚す
我が四川大爆撃

（上海二十三日同盟、日本）當地に達した重慶電報によれば去二十二日行はれた我が荒鷲部隊の四川大爆撃は重慶陣營に多大の衝撃を與へ、重慶を始め四川各地には午前十一時頃より殆んど間斷なく空襲警報が發せられ重慶の集會は一切開催出來ず新駐ソ大使召力士と新聞記者團とのテーパーチーも中止となつたと云はれる

各黨各派より有能の士を集めるとともに抗戰陣營から和協分子並びに舊套腐敗黨を清掃する

完全失敗に歸す
敵冬季春季抗戰結果
大本營二月線合戰果發表

東京廿三日國盟・日本）重慶政府は所謂冬期抗戰が完全なる失敗に終つた爲め、三月初全軍首腦部會議を開いて蔣介右自ら全軍に訓令を發し、新政府と民衆の離間を策し、冬期抗戰に次で春季抗戰を開治安攪乱工作を企圖し、頻りに蠢動しつつあつたが、我方は之に對し撤底的打擊を與え三月中に五原における傳作義軍擊滅を始めとして次の如き著しき戰果を獲得した

（大本營陸軍部報道部廿三日發表）

三月中における主要戰戦綜合戰果左の如し

捕虜 三四二 砲 六九
機關銃 三八 小銃 二三八
自動車 三 馬 四四九
我戰死 四〇〇（主要戰戦西部
▼北支方面

東京廿三日國盟・日本）重慶政府は所謂冬期抗戰が完全なる失敗に終つた爲め、三月初全軍首腦部會議を開いて蔣介右自ら全軍に訓令を發し、新政府と民衆の離間を策し、冬期抗戰に次で春季抗戰を開治安攪乱工作を企圖し、頻りに蠢動しつつあつたが、我方は之に對し撤底的打擊を與え三月中に五原における傳作義軍擊滅を始めとして次の如き著しき戰果を獲得した

（大本營陸軍部報道部廿三日發表）

三月中における主要戰戦綜合戰果左の如し

捕虜 三四二 砲 六九
機關銃 三八 小銃 二三八
自動車 三 馬 四四九
我戰死 四〇〇（主要戰戦西部
▼北支方面

一、五原における傳作義軍擊滅戰
一、軍渡附近共産海搗蕩戰
二、山西省西部一帶の共産軍擊滅戰
四、河北、チヤハル、ショウキョウ附近共産軍掃蕩戰
五、抗戰せる敵側總兵力約三五六〇〇〇
▼中支方面
一、信陽附近敵遊擊隊掃蕩戰
二、隨縣附近四川海の擊滅戰
三、瑞昌附近の掃蕩戰
四、長江沿岸の撤底的掃蕩戰
五、奥英線沿線山岳地帶の掃滅戰
六、抗戰せる敵側總兵力八一七〇〇
▼南支方面
一、羅山縣城の攻略伏滅戰
二、海南島の大掃滅戰
三、中山縣城の肅清戰
四、仙頭戰州附近に附近における殲滅戰
五、抗戰せる敵側總兵力五一七〇〇

獨空軍の爆彈破片で
米觀戰武官死亡
米當局事件を重大視す

（ストックホルム廿二日、同盟日本）駐スエーデン米國公使館は廿二日スカンヂナビア諸國駐在の米國陸軍武官ロバードエムローシー大尉がトレントハイム南方の英軍の占領したドムバス地方に於てドイツ空軍の空襲を觀戰中爆彈の破片をうけ死亡した旨發表した

（ワシントン廿二日同盟、日本）獨空軍の空襲で死亡したローシー大尉は米陸空軍の權威で、ソ聯、フインランド戰爭に際しソ聯、フインランド兩軍の空中戰を觀戰する爲めフインランドに派遣され後ノルウエーに駐在してた者であるが、米政府は全大尉の死亡を重視しハル國務長官も廿二日の新聞記者定例會見に於て右事件に言及左の如く語つた

國務省はローシー大尉の死亡事件に就き何等かの外交的措置を執るべきか否かを決定する爲め現在右事件の眞相を調査中である

ノルウエー船
日本向航行自由
英大使より通告

（東京廿二日同盟、日本）ノールウエー國交戰區航行に關するクレーギー英大使の談話

廿三日クレーギー英國大使は本廿三日午前十一時十分谷次官を官邸に來訪し、諸國船船は今後日本港にむけ航行續し、又日本港から他國の港にも航行し得る事となつた旨語つた、なほ日本のノールエー船に現在の雇船契約は何らの干渉が加へられないものと信ずる

東郷駐ソ大使
モロトフ會談

（モスクワ廿三日同盟 日本）廿一日東郷駐ソ大使はモロトフ外相を訪問し、日ソ間の諸懸案につき會談を遂げた、尙東郷大使は去る十四日モロトフ、ミコヤン兩氏と會談

米軍擴の反對論
上院議員連に擡頭す

（ワシントン廿三日同盟、日本）上院海軍委員會は下院よりの廻附された海軍擴張法案に就き廿二日も考究會を續行したが軍擴反對論も相當强く民主黨上院議員アダムスの如き強大すぎる海軍が却つて平和を破る憂れある點を指摘し廿一日夜ユーピー記者に左の如く語つてゐる

米海軍は現在既に大きすぎるとともに質的にも世界第一だ、英佛艦隊の勢力が減じドイツ艦隊が大部やられてしまつた今日は米海軍を擴張するのは特に不適當なり米國人は多少從來より好戰的になつて來たようだ、他國より遙かに大きい海軍を有してると何か事があれば出動させる氣になり勝なものだ、吾々は此の點を充分警戒せねばならない

日米戰—不可避!?
米提督詭辯を弄す

（ワシントン二十二日U・P）本日の上院海軍委員會に於てクショセフ・ターシツダ提督は日米戰爭は不可避であるとの左の如き見解を發表、センセイションを起してゐる

日本は東亞において強引されざるが如き新情勢を醸成せしめつつあるが、これは日本がその獨自の理想を全世界に擴大せしめんとする一段階なりと信ぜられ、今後願る警戒を要するものと認められる

と、新支那政府の成立助成並びに蘭印問題に關する帝國聲明を曲解これを自國の不當なる海軍大擴張案の口實たらしめんとの底意を仄めかしてゐる

日本の極東政策を曲解す

獨空軍
英沿岸襲撃

（ロンドン二十一日同盟・日本）英海軍省發表、二十一日夜突如獨機數台は英國東岸及び東南岸に飛來しテームズ及びハンバーカ港に機雷を布設が我高射砲隊並に猛砲火を加へ我戰闘機も應戰敵機は逃走

觸即發
バルカンに危機來る
各國極秘裡に海軍集結

（ソフイア二十二日同盟）耳古が英佛海軍に對しダダネルス海峡通過に暗默の承認を大矢發 バルカン情勢の緊與へたとの噂も加つて地中海黑海の波漸く高きを畏はせの軍事的動きも漸く活潑と繞ぐる列國海軍力はソ聯黑海なり伊太利がオデッサ、セバストポ數日來その海ールを中心に八万六千噸級艦隊はマルモラ海のイズミ島附近に集中大規模の海軍演習を行へば一方に於てはルーマニアは一万四千噸ブルガリヤは一千六百噸である

秘裡に海軍演習を行ふなど土耳古が英佛海軍に對しダダネルス海峡通過に暗默の承認を大矢發 バルカン情勢の緊與へたとの噂も加つて地中海黑海の波漸く高きを畏はせの軍事的動きも漸く活潑と繞ぐる列國海軍力はソ聯黑海なり伊太利がオデッサ、セバストポ數日來その海ールを中心に八万六千噸級艦隊はマルモラ海のイズミ島附近に集中大規模の海軍演習を行へば一方に於てはルーマニアは一万四千噸ブルガリヤは一千六百噸である

軍主力を多島海中のドデカネ土耳古はマルモラ海のイズ

危機切迫か
在洪米國市民引上げ
米公使館勸告

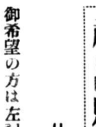
（ブダペスト廿二日同盟 日本）バルカンの危期切迫が傳へられてゐる折柄ブダペストの米國公使館は廿二日突然ハンガリー在留米國市民に對し引揚を勸告し多大のセンセーションを起した。然しこの引揚勸告が東南方に戰禍の擴大近しとの豫想に基きて行はれたものではないと否定した

Dr. Raul Jansen Ferreira
— Medico - Operador —
胃腸病、婦人病、尿道病手術、レントグンフキルム
Dトール
ラウル
ジヤンセン
フエレイラ
聖市キタンダ街一六二
三階六—七號室
電話二—六八八七（六九）

急募
一、十六七才以上の男子四五名
一、仕事 パステス・ファリカ
一、月給 百五十餞以上
サントス市ルア、ルザイマクク十五番
電話七六八六
大城盛太郎

都合により
ペンソン 土地
精綿工場
至急
讓り度し
姓名在社

むいさぼん寫眞館
館主 江口桂秀



祝開業
分讓 一打六拾餞
金魚 江口養魚場
主任 松田保
リンス市公園通り郵函一八六

▼歸化手續 經驗手帳
▼歸國手續 病人の世話等
聖市ルア、トリウンフホ二五四
電話 四〇四九四
興那嶺旅館

F. MASAOKA
Dentista
日本歯科醫
政岡禹實
アラサツーバ

ホテル
エスタソン
マリリア驛前 郵函一一二
電話十八番
澤尾啓三

肺、ロクマク
サンジゼ結核療養所
聖市ノルテより二時間卅分
一ケ月舍料 一五〇ミル
カンポス療友舍
セントラル線サンジゼ駅八キロ
舍主 竹田 六番

Cruzeiro do Sul Patente e Marca
Rua Felipe de Oliveira 21, 1.o and.
SÃO PAULO
Tel. 24523 - Caixa 390
發明特許 實用新案
圖案 マルカ 營業名
儀登錄 標章 並に營
業登錄 著作權 藥品
類 その他の手續

大募集!!
麻工場從業員
家族者獨身者の區別なく百五十名の工場就働者を求む
一、家族者は要求に應じてそれぞれに適當の仕事あり
一、一家族余作地も與ふ
一、ムダンサの旅費は會社にて支給す（本紹介所に手續の爲め立寄れば本所で支拂ひます）
一、十三、四歳の子供でも一人前の仕事が出來給料も一人前とされます、殊に大家族の子供さんの多くある家族には絶好です
一、場所はセントラール線第一の町にてタバテー町にて聖市より汽車にて三時間半
一、氣候はモンテグーラ山脈の山麓にて暖對の健康地
新生社
職業紹介所事務所（和歌山旅館内）
竹内之虎
聖市コンセレイロフルタード街二七三番
電話 二—八三四九
R. Coselheiro Furtado 273 São Paulo
窮狀にある人人よ、來りてたけ而して新生涯に入れ

開業御挨拶
皆様益々御清勝の段大賀に御座候
小生儀弊殿左記場所にてホテルを開業仕候、就いては深切、清潔、勉强をモットーとして御奉仕仕可候間宜敷しく御引立の程願上げ候
四月二十日
古賀旅館主
古賀武雄
パ延長線ヴェラクルース町 驛前
中央街左側 ポストブログレッソ前

福島縣現勢地圖
＝昭和十四年度＝
御希望の方は左記宛御申込下さい
（代價郵税共 六ミル）
Kiyomi Murai
Caixa Posta 2976 - S. PAULO（年度）
在伯福島縣人各位

日伯の楔
日伯貿易の潮に乗つて貿易界に新スタートを期し何程かの資金を有する人は御來談あれ
サンパウロ
貿易斡旋所

軍需品工場管理を施行

陸軍 經營合理化 生産價低下 に乘り出す

工場の利益を二割以下に減す

七月より實施

（東京廿二日同盟・日本）陸軍は昨年十月十六日、國家總員法第九條三項一條の規定に基づき、軍事需品工場事業場檢査令、並に陸軍々需品工場原價計算要項を交附して、陸海軍大臣は軍需品工場主から、經理原價計算の報告書を強制的に徴収し得ると共に、陸軍の關係官吏を工場事務所の現狀に臨檢せしめて經理原價に關する帳簿書類を強制的に調査し得ることとして、所謂原價計算制度を確立し、軍需品經營合理化、生産原價の低下を計る新制度を創設した本令は公布後、來る六月三十日までの約八ケ月は猶余期間として各事業主に、これの準備を講ぜしめ、來る七月一日から實施せられることとなる。陸軍はこの實施に關聯して、本年度から愈よ軍需品工場の積極的指導監督にのり出して軍需生産能力の擴充と政治經濟の調整實現に向つて陸軍の軍需品工場の基調たる低物價政策の遂行を計る新制度を創設した本令は公布後、來る六月三十日までの約八ケ月は猶余期間としてこの中に於て陸軍では特に軍需工場適性利潤算定要領を指定したが軍需工場の利潤の算定法を具體的に制定し、これを全軍需工場に强行するのみならず一般産業の利潤抑制に關しても今回の陸軍方式を採用する樣 參考として關係各省に配布することとなつた。軍需工場の利潤の統制は國家總動員法第十一條にも規定されてゐる

即ち七月一日からの軍需工場の利潤の發生防止に努め來つたが陸軍原價計算要項の實施に即應して新に軍需品に關する適性利潤等定要項を定めその算定方法を具体的に規定し利潤發生の源泉に逆つて之が訂正を計り以て過富利潤の抑制に努める

二、利潤統制の强化

陸軍は從來調辯價格の適制定獄により過富利潤の發生防止に努め來つたが陸軍原價計算要項の實施に即應して新に軍需品に關する適性利潤等定要項を定めその算定方法を具体的に規定し利潤發生の源泉に逆つて之が訂正を計り以て過富利潤の抑制に努める

四、軍需品調達の合理化

工場經營の刷新計理調査の徹底利潤統制の强化に即應して軍需調達の合理化に即應するが爲納和十二年度軍需品調辯用條項を定め調辯の計畫化と統制を計ると共に正確なる原價を基礎とし之に適性利潤を加算した調辯計畫を決定するを原則とし而かも價額決定に際しては單に原價を機械的に導入せしめることなく事業の經營合理化の努力による原價の底下に對してはその經營能率、優秀性に對する報酬は之を過當に酌酌して經營合理化生産原價低下に對する刺戟を失はざる事をその方針とする

共に原價及び管理に關する比較程度を確立し以て經費能率の增進を計る

軍需工場の指導方針

調査の徹底

桑に軍需品工場事業案中檢査令による陸軍原價計算要項を制定し軍需品工場の統一、原價計畫制度を實施したが更に軍需品工場の貸借對照表及び利益計算書の準則を定め計理及び原價を綜和し事業主より徴する統計諸表を添知すると共に原價及び財務の檢査要項を定め之によつて適當な低物價額決定の基礎を堅固するとともに軍需工場の利潤の算定要領を指令、奮起せしめ、來る七月一日實施し、軍需工場の利潤の統制に即應し、

殺人罪・懲役八年
菊子に控訴判決 即日上告

（大毎三月五日）

殺人か傷害致死か

第二審求刑）か――――懲役三年（第一審判決）か無罪懲役（第一審ならびに社會の視聰を集めた愛怨チフス腸緩頭事件の女醫、廣瀬菊子（四〇）に對し、四日大阪控訴院小原裁判長から懲役八年の判決が言渡された、第一審青木裁判長の「傷害ならびに同致死罪」の認定は第二審で覆へされ「殺人ならびに同未遂罪」と認定されたのである

この日大法廷は前夜から詰めかけた一般傍聽人に對し特に百廿名まで入廷を許され、特別席には菊子の從兄金澤正大氏夫妻や事件以來菊子の最大の同情者である神戸の吉村醫院長夫妻と長男の京大理學部二年生常雄君（二三）長女美津枝さん（二一）が一家總動員で「判決如何に」と緊張した不安の顔を並べる

菊子は薄紫の金紗の着物いつもの黒い繪羽織、けふはエツコリ白い歯をみせて被告席に着く

午前十時十五分正面の扉が開いて眞先に判決文を手にした小原裁判長、つづいて伏見小林兩陪席判事　そのうしろからは芳賀檢事が入廷それぞれ定めの席につき裁判長はまづ「判決理由からのべる」

菊子の生立ちから初めてこれまでのと大國小異の犯罪事實をのべ最后に情狀論では

本件の動機については相手方に非難すべき點が多々あり、被告に同情すべき點もあるが、その發生した結果の重大性や社會公共上の立場からは本件を輕々にすることは出來ない

とのべ、段と聲を張り上げ被告人、懲役八年に處す

原審未決拘留日數百廿日を本刑に算入する

と判決主文を一氣に讀み上げる、瞬菊子の肩が微かに震えたかに見えたが、直ぐもとの不動の姿勢に戻つた、傍聽席は森閑、靜まり返り、しばらく聞えぬ、芳賀檢事や瀧川、沼田兩辨護人らは表情の動かさぬ　次いで裁判長は語氣を和らげ慈父がわが子を諭すやうな口調で

世間には今事件に對する情の聲が高いやうであるが被告人はこれらの聲に全部滿足は　てはならぬ、まこと實際世間には被告人に對する深刻な非難の聲もあるのである　被告人はきき　當法廷に於て「自分の性格は缺点だらけで正しくなかつた」と認めてゐる、被告人はその責任の重大なことを自覺するとともに自分がこのやうな正しくない心を反省し心を反省　謙虛な心になるとともに足らない點を補ひ努力してゆくことを希望する

條理を盡くした諭告に菊子も肩をふるはせ　傍聽席の女性の中にはハンケチを目に當てるものもあつた、かくて午前十時五　分「もし右　判決に不服ならば五日以内に申立しるやうに――」との裁判長の言葉で最后　閉廷、午后三時菊子は上告の手續をとつた

小原判裁長談

判決を終へてホツとした面持で判事室へ引返した小原裁判長は　卓上に堆くつまれた菊子に關する投書などを前にしながら語る

御覽の通り方々の未知の人から菊子に關して投書が隨分來　これは社會のひ判として公判廷にものべたところである　この事件は特に一般社會の視聰を集めた愛怨チフス腸緩頭事件の女醫、廣瀬菊子（四〇）に對し、四日大阪控訴院小原裁判長から懲役八年の判決が言渡された、第一審青木裁判長の「傷害ならびに同致死罪」の認定は第二審で覆へされ「殺人ならびに同未遂罪」と認定されたのである

情に甘にぬやう

菊子の實兄廣瀬曾興氏は從兄の島田光猪氏ら、判決言渡はきくのは恐いと公判廷にも姿をみせなかつたが　言渡後北區支所へ菊子を尋ねる途落ついて調子で語る

菊子の兄 曾興氏談

まことに世間を騒がし通して申譯ありません、刑期が八年と決つたさうですが勿論肉親の情としては輕くてやりたい　執行猶豫にも願ひたい氣持はつばいですが、こんどに世間を騒がし、しかも醫師として、この道を誤つた行爲をした以上は世間へ對するお詫びのしるしにもこれから菊子に會つて何もいはずに服罪するやうにいふつもりです、世間の人々から同情を賜はり郷

芳賀檢事談

本事件が何に騒がれようとそれに惑はされてはならぬ　小原裁判長から殺人ならびに同未遂罪　斷定されたことは當然ことでわれわれの主張もそこにあつた　刑期に輕き　失するやうだが上告するがこれから協議した上決定する

判決理由

第一審　判決で本件が傷害ならびに同致死罪と認定されたのは菊子の犯行の目的が佐藤幹男を殺害するどでなく罹病させて苦しめさらにさうすることによつた幹男の醜意を促す一纒の望みさへ當時の菊子の心情の中にはあつたといふ被告側の主觀的事情を極めて好意的同情的、斟酌されたものであるが第一審小原裁判長は中川豫審判事の豫審終結決定書や第一審坂井檢事のいはゆる一未必の故意」を採用、すなはち第五第六　第七回の予審訊問における被告の陳述中に一昭和十四年四月十日ごろ結婚記念日を迎へあのころ誰が今日のことを想像したであらう」と幹男の

冷酷な

性打ちと呪ひ

「この世には神佛の加護はないものか　自分　思ひどおりに通じるものならばこの怨みでも幹男を罹病させいつそ氣でもしまつたほうが自分　持がはれると思つた」とか「チブス菌饅頭を送れば菓子と食べる病人は勿論家族もそれから第二者も罹病場合によつては誰かが死ぬかも知れないとは思つが殺してやらうにまで突進んだ考へはなかつた　自分が醫師としてチブス・菌危險は、分知りチブス・罹病者のうち醫療手當を加へてもその八パーセント乃至二十パーセントの死亡率あることも承知してゐた」と述べ、また當法廷において身体虚弱者がチブスに罹病した場合健康體の場合ともも恐るべき死の結果分析する危險性が多いことも知識として知つてゐた、佐藤幹男の妹は結核體質、弟さん律男　腎臓結核で會社へ出勤はしてゐたが出るのが精一杯であり若し同人がチブス　かにでも罹かればそれかも知れぬといふことを知つてゐた、佐藤家のゐならば平和に暮さうとその菓子を食べて罹病する危險のあることは知つてゐたが家から外部へ持ち出されるとは考へなかつた等々の重大の陳述がありこれらを綜合してチブス菌饅頭を送れば幹男以外のものも罹病し死の轉歸を生じやも知れないとの豫見を有しながら饅頭を送りその結果一名の死者と十一名の罹病者を出したのであり死亡した律男に對する行爲は未必の故意に基く殺人罪であり幹男以下一一名の罹病者ともに饅頭を食はす罹病しなかつた父、郎　母やに對しては殺人未遂罪が成立するものと斷案を下されたので情狀論においては犯行動機には十分同情　涙を注ぎながらも社會共公的見地から本件を重視しさらに刑の適用において殺人罪傷害致死罪或は過失致死罪の別を概念論的には種々の意もあるが本件の具體的事實に對しては自らわが

刑法上

國に定められた法規を適用しなければならぬとて刑法第百九、九條ならびに第二百三條を適用さらに一個の行爲にして數個の罪名に觸るる場合に該當するとて同法第五十四條第一項前段第一條最も重き刑を以て處斷すを適用された辯護人側から犯行當時弱狀態の被告は心精耗弱にあつたと主張は當法廷における被告の陳述や證人美代の證言から異常の興奮狀態にはあつたかも知れぬ、が刑法にいふ精神喪失の程度でなかつたとてこれをしりぞけられた

冷酷な

性打ちと呪ひ

「この世には神佛の加護はないものか　自分　思ひどおりに通じるものならばこの怨みでも幹男を罹病させいつそ氣でもしまつたほうが自分　持がはれると思つた」とか「チブス菌饅頭を送れば菓子と食べる病人は勿論家族もそれから第二者も罹病場合によつては誰かが死ぬかも知れないとは思つが殺してやらうにまで突進んだ考へはなかつた　自分が醫師としてチブス・菌危險は、分知りチブス・罹病者のうち醫療手當を加へてもその八パーセント乃至二十パーセントの死亡率あることも承知してゐた」と述べ、また當法廷において身体虚弱者がチブスに罹病した場合健康體の場合ともも恐るべき死の結果分析する危險性が多いことも知識として知つてゐた、佐藤幹男の妹は結核體質、弟さん律男　腎臓結核で會社へ出勤はしてゐたが出るのが精一杯であり若し同人がチブス　かにでも罹かればそれかも知れぬといふことを知つてゐた、佐藤家のゐならば平和に暮さうとその菓子を食べて罹病する危險のあることは知つてゐたが家から外部へ持ち出されるとは考へなかつた等々の重大の陳述がありこれらを綜合してチブス菌饅頭を送れば幹男以外のものも罹病し死の轉歸を生じやも知れないとの豫見を有しながら饅頭を送りその結果一名の死者と十一名の罹病者を出したのであり死亡した律男に對する行爲は未必の故意に基く殺人罪であり幹男以下一一名の罹病者ともに饅頭を食はす罹病しなかつた父、郎　母やに對しては殺人未遂罪が成立するものと斷案を下されたので情狀論においては犯行動

氣の毒な……

佐藤博士談

法律のことは知りませぬので刑のことは何んともいはれませぬが八年とはするぶん長くなつて氣の毒と思ひます、いづれ上告するでせうが刑の輕からんことを祈つてゐます、私個人としてはあれをうらむ氣にはなれません、結婚については郷里廣島の方からいつて來る人もありますがいづれ落着いてからです

せめて五年なら……

判決の一瞬、よろめく菊子の知性

（大阪三月五日）

懲役八年――十四日大阪控訴院小原裁判長から判決を言渡された刹那「理智の女性」廣瀬菊子（四〇）もさすがに動揺　被告席へもどる際も二、三歩よろめきかけしやつとこらへた程であつたやがて滿員の傍聽人の注視をあびて廷丁に導かれて北區刑務支所に引揚げる深編笠の菊子の着物の襟に「一」と記した留置番號布の白さが妙に哀感をそそつた　監房に歸つた菊子はうちしをれて元氣がなく、間もなく面會に訪れた瀧川、沼田兩辨護士にも「自分には殺人の意思はなかつた懲役八年はあまりに重すぎるせめて五年なら……」と明かに判決に不滿の意をもらし結局上告の手續きをとり、兩辨護士はすぐ後から面會にきた實兄曾興氏の上告とりさげのいさめにも耳を傾けなかつたものらしい

刑務支所内における菊子は吉川諭教師らの談を綜合すると大體に平靜で、特徴としはよく笑ふことと聲は透き通るやうに美しいこと、割に多辨であること、この「よく笑ふ」といふのは聲に出しての笑ひでなく目身も思はぬ時にニコリと白い歯を出して笑ふ特殊な笑ひで、公判廷においてもしば〳〵見受けられたしこの辭は菊子自身も氣がつき押へようと努めてがつい出る笑ひだと語つてゐるさうである

こんどの事件の結果についても責任も感じ、すまないと思つてゐるが、ただ理性の勝つた女性だけに、その氣持を表現するにも自然インテリ的な臭味がつきまとひ、他人に誤解されるやうなところがあるこんどの事件を轉機として信仰の道に生きようといふ氣持にはまだなつてゐないらし

判決理由

第一審　判決で本件が傷害ならびに同致死罪と認定されたのは菊子の犯行の目的が佐藤幹男を殺害するどでなく罹病させて苦しめさらにさうすることによつた幹男の醜意を促す一纒の望みさへ當時の菊子の心情の中にはあつたといふ被告側の主觀的事情を極めて好意的同情的、斟酌されたものであるが第一審小原裁判長は中川豫審判事の豫審終結決定書や第一審坂井檢事のいはゆる一未必の故意」を採用、すなはち第五第六　第七回の予審訊問における被告の陳述中に一昭和十四年四月十日ごろ結婚記念日を迎へあのころ誰が今日のことを想像したであらう」と幹男の

冷酷な

性打ちと呪ひ

「この世には神佛の加護はないものか　自分　思ひどおりに通じるものならばこの怨みでも幹男を罹病させいつそ氣でもしまつたほうが自分　持がはれると思つた」とか「チブス菌饅頭を送れば菓子と食べる病人は勿論家族もそれから第二者も罹病場合によつては誰かが死ぬかも知れないとは思つが殺してやらうにまで突進んだ考へはなかつた　自分が醫師としてチブス・菌危險は、分知りチブス・罹病者のうち醫療手當を加へてもその八パーセント乃至二十パーセントの死亡率あることも承知してゐた」と述べ、また當法廷において身体虚弱者がチブスに罹病した場合健康體の場合ともも恐るべき死の結果分析する危險性が多いことも知識として知つてゐた、佐藤幹男の妹は結核體質、弟さん律男　腎臓結核で會社へ出勤はしてゐたが出るのが精一杯であり若し同人がチブス　かにでも罹かればそれかも知れぬといふことを知つてゐた、佐藤家のゐならば平和に暮さうとその菓子を食べて罹病する危險のあることは知つてゐたが家から外部へ持ち出されるとは考へなかつた等々の重大の陳述がありこれらを綜合してチブス菌饅頭を送れば幹男以外のものも罹病し死の轉歸を生じやも知れないとの豫見を有しながら饅頭を送りその結果一名の死者と十一名の罹病者を出したのであり死亡した律男に對する行爲は未必の故意に基く殺人罪であり幹男以下一一名の罹病者ともに饅頭を食はす罹病しなかつた父、郎　母やに對しては殺人未遂罪が成立するものと斷案を下されたので情狀論においては犯行動

氣の毒な……

佐藤博士談

法律のことは知りませぬので刑のことは何んともいはれませぬが八年とはするぶん長くなつて氣の毒と思ひます、いづれ上告するでせうが刑の輕からんことを祈つてゐます、私個人としてはあれをうらむ氣にはなれません、結婚については郷里廣島の方からいつて來る人もありますがいづれ落着いてからです

せめて五年なら……

判決の一瞬、よろめく菊子の知性

（大阪三月五日）

懲役八年――十四日大阪控訴院小原裁判長から判決を言渡された刹那「理智の女性」廣瀬菊子（四〇）もさすがに動揺　被告席へもどる際も二、三歩よろめきかけしやつとこらへた程であつたやがて滿員の傍聽人の注視をあびて廷丁に導かれて北區刑務支所に引揚げる深編笠の菊子の着物の襟に「一」と記した留置番號布の白さが妙に哀感をそそつた　監房に歸つた菊子はうちしをれて元氣がなく、間もなく面會に訪れた瀧川、沼田兩辨護士にも「自分には殺人の意思はなかつた懲役八年はあまりに重すぎるせめて五年なら……」と明かに判決に不滿の意をもらし結局上告の手續きをとり、兩辨護士はすぐ後から面會にきた實兄曾興氏の上告とりさげのいさめにも耳を傾けなかつたものらしい

刑務支所内における菊子は吉川諭教師らの談を綜合すると大體に平靜で、特徴としはよく笑ふことと聲

農村青年運動
秋山先生を亞國に送る日

一八　井上　新

我らとしても斯る犠牲は當然の光榮ある義務と云へよう斯る社會への奉仕は金錢勞働或は特殊技能知識の總ゆるものを持ち寄つて爲さるべきである。金ある者は金を金なき者は汗を出し合はなければならぬ。社會の文化國民文化、は單に或る種天才の事や才能に依りて創造されるものではない、社會人總ての向上への努力の總和である。一部文化論者へ敢て呈する

話しは少し横路へ外れるが御下賜金を賜つた日本病院の經營に就いても現在の案には最初から反對だつた人も多いであらうが既に出來上つた以上は何んとかして在伯同胞の總ての責任に於て御聖意に沿ふて之を活用するやう共同責任觀念がなければならない若し同胞にして斯る我らの病院（この）の鞏固と意識とその發有効に發揮せしめる丈組織へあれば當然之に病院當局者に反映したであらうそうすれば昨年度の不祥事件を發生せずに濟んだことであらう。何れにしても我らの病院としての意義と進歩せる日本醫學が伯國醫學界に臨床基礎醫學にアルバイトし治療技術の優秀性を發揮して欲しい

家計生活上の他の一大問題は所謂生活改善の問題である

結婚、葬儀、歳暮、出產等の贈答、餞別等之らの社交儀禮に伴ひ精神的意義を沒却形式と虚榮に流れ多額の入費をかけみえに陷り農家經濟に本の社會經濟に影響を及ぼす點が多い。是から青年の自覺により斯る生活合理化を計ることはさまで困難ではない。然し斯る社會生活改善運動は個人では出來

を認識しなければならぬ勿論之らの社交儀式には夫々の意義があるので之を廢する必要はない、隣保扶助の念強き農村生活に於て斯る社交は增々その意義をあらしむるために心掛けねばならぬが之れに要する無駄な費用は共同の責任に於て實行されなければならぬ。斯ることは識者からも度々叫ばれてゐることではあるが中々實行が徹底しない

お互に苦みながらも意々その結婚當事者となると中々實行困難となる、特に老父母は代であり今后益々資本は集中これ迄の家柄とか仕來り手前仲々實行を肯じないが一般かに云へば植民地社會は古き日本の攻撃支配は增大すること當然の發展過程である。從つて生產者としての中小農業者は之を活用するやう共同責任觀念なければならない若し同胞にして斯る我らの病

（C）農業者としての

經濟的位置

農業者は個人としての農業經營及びその家族の生活の更に進歩と改善に必然的關連あることを說べたが農業者は經濟社會に於て他の經濟如何なる關係地位に置かれるかを考慮しなければならぬ

採るべき具體的實踐に入らなければならぬ。好むと好まざるに拘らず現在は資本主義經濟の時代であり、交換經濟の時代であり今后益々資本は集中人主が多い　又斯うしても現に多くの小金持も百人に一人位は產れて來た。こうした實例を見て俺にも出來ると自分人を例外と考へる植民地農業者はその生產過程に於て有利家の大多數が、こうした小地主的イデオロギーに支配され

得ない。青年或は處女の共同に於て又兄弟家長への理解を深めなければならぬ　決して社會秩序を破壞するのが改革ではない。合法的な平和の秩序を踏んじつつも弊風の改善について熱情と氣魄を以て青年を鼓舞する人でなければならぬ

（C）農業者としての

經濟的位置

農業者は個人としての農業經營及びその家族の生活の更に進歩と改善に必然的關連あることを說べたが農業者は經濟社會に於て他の經濟如何なる關係地位に置かれるかを考慮しなければならぬ

採るべき具體的實踐に入らなければならぬ。好むと好まざるに拘らず現在は資本主義經濟の時代であり今后益々資本は集中人主が多い　又斯うしても現に多くの小金持も百人に一人位は產れて來た。こうした實例を見て俺にも出來ると自分人を例外と考へる植民地農業者はその生產過程に於て有利家の大多數が、こうした小地主的イデオロギーに支配され

農業の伯國進出、鑛業、商產業の伯國進出、鑛業、商產農機具　瀨戸物　金物は勞働日本へ輸出に先手を打つたことは民族經濟の立場より特筆大書すべきことであらう、亦綿業資本に依る邦人農家の對日棉花輸出が聖州棉の價格として米棉の位置迄高めたことを忘れてはならぬ

近年に至り斯く在伯邦人の民族的經濟力が曲りなりにも農產加工の範圍を出でざる火組織化されたことは米國、ハワイ、ペルー邦人移民史に無比に棉花　珈琲の取引に現はれて來た巨大な金融力を有する企業資本の攻撃を日に日に強化されて來た、我々も唯土重隊の活動は二十万の軍を養ふには余りに無組織であり。

無統制であつた。否在伯邦人を「動員した經濟体制は何等な個々の生產者はエンジヤーの置かれたる地位を認識するダを以てゲリラ戰で他民族の資本力に向ひ勇敢に戰ひつつあつたのである。やうやく在伯邦人が日本の系統的資本と直接結び付いたのは昭和十年は當然の發展過程である、又移住組織化に乘出し日本の重工業の伯國進出、鑛業、商產

農機具　瀨戸物　金物は勞働日本へ輸出に先手を打つたことは民族經濟の立場より特筆大書すべきことであらう、亦綿業資本に依る邦人農家の對日棉花輸出が聖州棉の價格として米棉の位置迄高めたことを忘れてはならぬ

近年に至り斯く在伯邦人の民族的經濟力が曲りなりにも農產加工の範圍を出でざる火組織化されたことは米國、ハワイ、ペルー邦人移民史に無比に棉花　珈琲の取引に現はれて來た巨大な金融力を有する企業資本の攻撃を日に日に強化されて來た、我々も唯土重隊の活動は二十万の軍を養ふには余りに無組織であり。

無統制であつた。否在伯邦人を「動員した經濟体制は何等な個々の生產者はエンジヤーの置かれたる地位を認識するダを以てゲリラ戰で他民族の資本力に向ひ勇敢に戰ひつつあつたのである。やうやく在伯邦人が日本の系統的資本と直接結び付いたのは昭和十年は當然の發展過程である、又移住組織化に乘出し日本の重工

社告

苦學力行の青年

三名募集

午后一時より

市内配達

▽優遇△委細面談

聖州新報社

社告

女事務員　三名

右急募す

希望者は履歴書持參、本人來談の事

三月三十日

聖州新報社

Dr. Zephirino do Amaral
MEDICO — OPERADOR
Rua 7 de Setembro 235 Phone 2-1602 S. Paulo

聖市サンタカーザ病院長外科、内科部長
サンタマツタ病院
内科部長
專門
一般外科手術
婦人病
泌尿器病

ドトール　ゼフイリノ・デ　アマラル
診察時間　午後二時から五時まで
聖市セテ・デ街セツテンブロ
電話二――六〇二

OFFICINA HISPANO BRASILEIRA
MANOEL LOPES SALLES
Caixa 334, Phone 450 Avenida Nelson Spielman 62-53 MARILIA

安價
入念
精巧

各種乘合自動車
「座席」製造

BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA, LTD.
(The Yokohama Specie Bank, Ltd.)
Rua da Candelaria N.º23
Caixa Postal, 380 - Rio de Janeiro

横濱正金銀行
リオ・デ・ジヤネイロ支店

切り取りて手紙、

◉鄕里送金
御鄕里への御送金は送金人一人、受取人一人に付き毎月二コントス迄許可せられます。送金特別税五分（五%）は弊店への御送金額中より差引き申受けます。鄕里送金爲替は爲替管理法上特別自由爲替と申しまして一般の爲替取引から隔離されて居りますので相場も一般の爲替取引相場とは關係のない別個のものであることを御心置き御願申上げます

◉伯貨預金
定期預金　六ヶ月以上　年二分半
特別當座預金　年二分
外に當座預金（小切手）も御預りしますが、日本貨預金は御取扱ひ致しません

Noticias de S. Paulo
(Primeiro Diario Nipponico Publicado no Brasil)
DIRECTORA E PROPRIETARIA CELINA KOWYAMA
Caixa Postal, 2765
Telephone 7-0447
R. Conde de S. Joaquim, 93
SÃO PAULO – BRASIL
ASSIGNATURAS
Anno - - - - - 40$000
Semestre - - - 20$000
Numero do dia - - $500
Exterior, anno - 100$000

ゴエス將軍

雜談が實を結び 日本へ將校留學

桑島大使と

近時日伯兩國間の友交緊密化に伴ひ今更の如く日本移民再認識の聲が日本語研究日本文化研究等の普及隆盛の形となつて漸次高まりつつあるが伯國陸軍が日本語修得の爲將校を日本へ留學せしめるといふ愉快なニュースが傳はつた

桑島帝國大使は去る十八日全官邸にゴエス、モンテイロ參謀總長、前日支事變觀戰武官リマ、フイグレード中佐その他を招き晩餐會を催したが確といふ見解を發表、桑島大使は「日本語は仲々むずかしいと云ふ樣な話に端を發し、ゴエス將軍は日本移民の理解と指導には是非日本語修得が必要だ相談の結果忽ち陸軍中尉又は大尉一名を日本へ留學させることになつたといはれる

聞する所によると今席上ゴエス將軍と桑島大使との雜談中から二、三名、將校を日本へ留學させて日本語を修得させたらどうかと話がトントン拍子に進み全席のリマ中佐等と

日伯貿易の更新

水野氏に特殊任命

（東京廿三日ハーバス）外務省通商局第三課長水野伊太郎氏はリオに開催される日本外交代表會議に出席の加藤公使に隨伴し渡航中であるが氏は多分伯國富局との間に特に兩國間に於る貿易の確立に就ての何等かの協議を遂げんであらうと見られてゐる、胡日新聞に依れば日伯間の貿易は左の如くに要約される

日本は昨九三九年度に於て百五、六万円を伯國へ輸出したが、それは中南米に對する總輸出額の五パーセントに當る。對し全期間中に伯國より輸入したるは七千四百六十六万二千円に達ラテン・アメリカ諸國との取引總額の八十パーセントにも及ぶ伯國との間に保つ親善關係にもとづいて日本は出來る限りそれ以上の伯國棉を輸入するとともに主に加工品部分品及び玩具類を輸出しようとするであらう

パラナ執政官

水野翁植民地訪問

（クリチーバ、九日郵信）水野龍翁は過日敵國にマノエル、グロッサリーバ執勢官を訪問、敬意を表するとともに全翁のアルボラーダ植民地開拓現狀を報告、執政官は水野翁の努力に感謝し近く植民地訪問を約したが、愈よ廿日午前八時當市出發、自動車にポンタ、グロッサ巾に向ひ全巾に開催中の蓄産展覽會に臨席、廿二日アルボラーダ植民地を訪問することとなつた

實業野球

文敎、ブラ拓コチア勝つ

實業リーグ二十一日戰績左の如し

文敎對東棉　五A二で文敎勝つ
文敎三回、五回に各二點、七回に一点、東棉五、六回に各一点、バッテリーは東棉根本、上田（投）前山、文敎會山下（投）櫻井
東棉打數二六　安打二
失策九　文敎打數三七
安打九　失策八

日伯對ブラ拓　十三對十にて
ブラ拓勝（ブラ拓先攻）
ブラ拓一回一、四回五、九回四　日伯一回一、四回二、三回三、四回二、六回二、八回一
バッテリーはブラ拓高津、上野（投）佐藤　日伯と上竹田、酒屋（投）竹田
ブラ拓打數四八　安打九　失策一七　日伯打數四七　安打九　失策二〇
コチア對小西　十三A對三で小西惨敗　小西三回二、六回一　コチア三回三、五回

西尾總司令官初の賞詞

（南京廿二日同盟日本）西尾支那派遣軍總司令官は新中央政府樞密の地であつた上海の治安警備に對し、上海憲兵隊一、七回六、八回三、バッテリ小西松野（投）白石　コチア賞松（投）桑原　コチア打數四三　安打八　失策三　小西打數三四　安打九　失策一五

工藝

美術使到着

絢爛眼を奪ふ千餘點

五月廿三日先づリオで展示會

（リオ廿二日本社電）日本輸出工藝聯合主催の日本工藝美術品の展示會は來月二十三日より向ふ十五日間フラーニヤ外相、コスタ農相、桑島大使其の他九名の伯人一流名士の列品千數百點は聯合會那須代表と共に過日入港のあるぜんホテルのサロンで開催されることとなつたが、開展示會陳